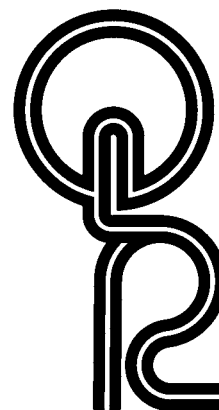


QR Newsletter

第四紀通信

Vol. 22 No.4, 2015



東京大学総合研究博物館の AMS 公開ラボで実施された放射性炭素年代測定講習会。
(詳細は 8 ページ)

Vol. 22 No. 4

August 1, 2015

総会のお知らせ.....	2	評議員会議事録.....	9
2015 年大会案内 (第 5 報).....	3	幹事会議事録.....	10
学会賞等受賞者決定.....	8	会員消息.....	11
講習会報告.....	8	メーリングリスト登録のお願い.....	12

◆日本第四紀学会総会のお知らせとお願い

8月30日(日)、早稲田大学早稲田キャンパスにて2015年度総会が開催されます。今年の日本第四紀学会大会はINQUA名古屋大会のおよそ1か月後に開催されるため、2日間に短縮して行われますが、総会は2014年度の事業報告が行われ、また2015年度事業計画や会則の一部修正案などが提案される重要な会議です。会員各位のご出席をお願いいたします。やむを得ず欠席される場合には、委任状(とじ込みはがきまたはファックス、メール)を必ずご提出ください。8月24日(月)必着でお願いします。

- とじ込みはがきでの委任状提出の場合は、お手数ですが切手を貼り、締切日までに到着するように早めに投函下さい。
- ファックスでの委任状提出の場合は、とじ込みはがきか下記の様式に必要事項を記入し、下記のFAX番号宛をお願いします。
FAX番号：03-5291-2176 日本第四紀学会事務局宛
- メールでの委任状提出の場合は、宛名を「2015年度総会議長」としたうえで、代理人氏名(「議長」でも可)、氏名、所属を明記し、daiyonki(at)shunkosha.com(学会事務局:「(at)」の部分「@」に変えて下さい)へ送信して下さい。メールの題名は「第四紀学会メール委任状(2015総会)」として下さい。

総 会 委 任 状

2015年 月 日

日本第四紀学会 2015年度総会議長殿

私は日本第四紀学会 2015年度総会における一切の議決権を

() 会員に委任します。

議長に委任します。

上記のどちらかを選択し、にチェックマーク✓を記入してください。

会員は、総会に出席する会員(1名に限る)に議決権を委任することができます。

一人の会員が他の会員から受けられる議決権は1票のみですので、

委任する場合は本人の承諾を事前に得たうえで、その会員のお名前をお書きください。

氏名 () (自筆に限る)

所属 ()

◆日本第四紀学会 2015年大会案内 (第5報)

1. 開催地および日程

- ・会場：早稲田大学早稲田キャンパス 14号館・16号館（新宿区西早稲田 1-6-1）
- ・日程：2015年8月29日（土）・30日（日）
- ・アクセス
 - JR 高田馬場駅前より徒歩 20分
 - JR 高田馬場駅前より学バス早大正門行き「西早稲田」下車徒歩 3分（西門）
 - 地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」下車徒歩 10分（副都心線ではありません）
 - 都電荒川線「早稲田駅」下車徒歩 5分（地下鉄の駅とは別です）

大学ウェブサイト 交通アクセス情報

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

- ・宿泊：周辺のホテルをご利用ください。宿泊の予約は各自でお願いいたします。

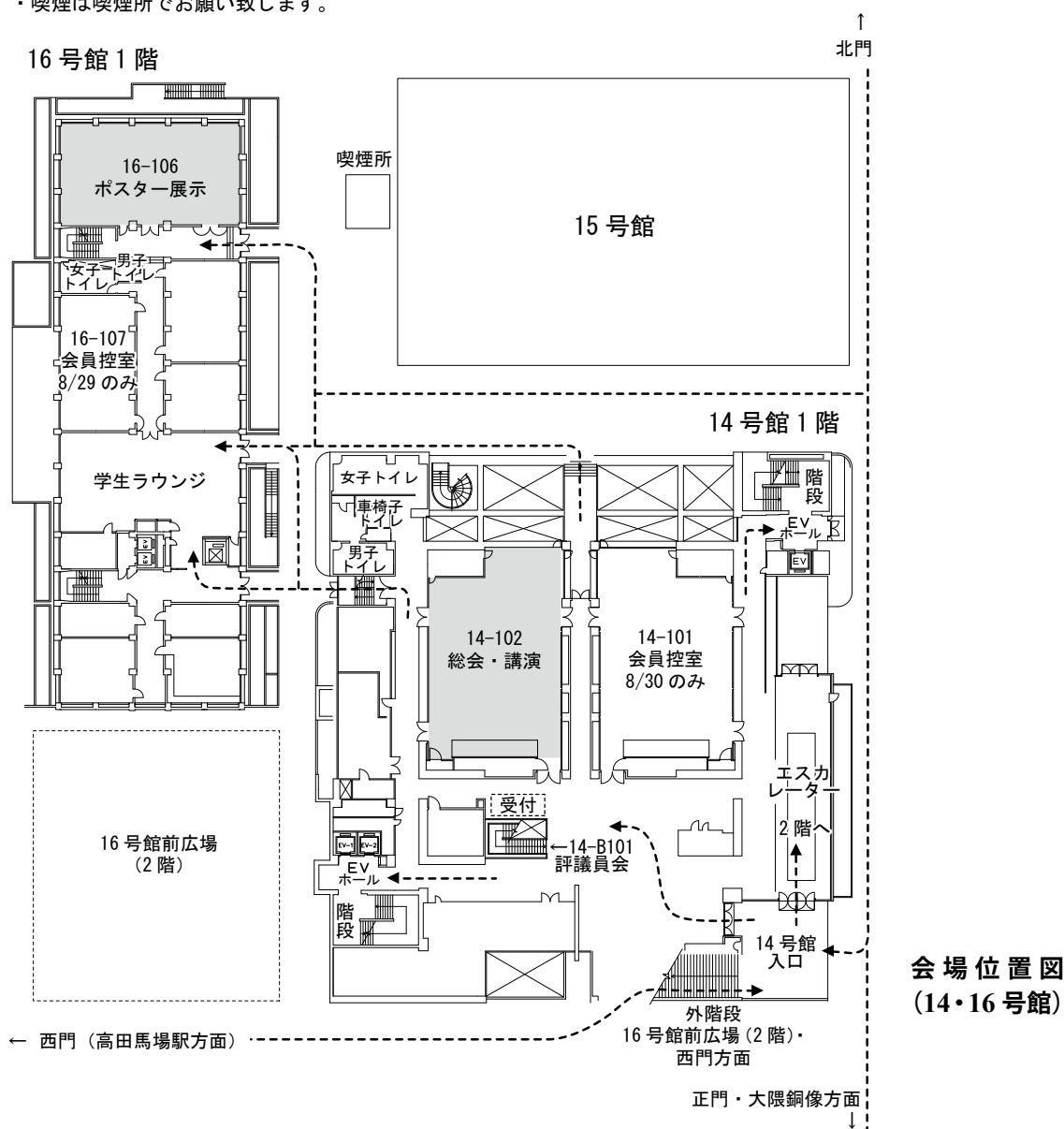
【会場までの地図】



早稲田キャンパス 周辺マップ

日本第四紀学会 2015年大会案内図（早稲田大学）

- ・会員控室は29日 16-107、30日 14-101となります。
- ・シンポジウム会場（14-201）は14号館2階となります。
- ・懇親会会場（14-604）へは14号館エレベーターをご利用の上、6階までお越しください。
- ・喫煙は喫煙所をお願い致します。



・日程

8月29日 (土)

- 10:00 ~ 13:00 評議員会 (14号館地下 B101)
- 13:30 ~ 14:30 ポスターの概要説明 (希望者のみ、1人3分) (14号館 102)
- 14:30 ~ 16:00 ポスターセッションコアタイム (16号館 106)
- 16:30 ~ 17:15 2014年学術賞受賞者講演 (14号館 102)
- 17:15 ~ 17:45 2015年学会賞・学術賞等表彰式 (14号館 102)
- 18:00 ~ 20:00 懇親会 (14号館 6階 604)

8月30日 (日)

- 09:30 ~ 12:30 公開シンポジウム「第四紀学から防災教育へのメッセージ」(14号館 201)
- 14:00 ~ 15:30 総会 (14号館 102)
- 15:30 ~ 17:00 ポスターセッションコアタイム (16号館 106)

2. 参加費と講演要旨集

- ・大会参加費：2000円（会員・非会員問わず）。会場受付でお支払いください。（大学院生会員は1500円、70歳以上の会員と学部学生、シンポジウム依頼講演者は無料）
- ・講演要旨集：2000円（予定）。会場で販売します（頁数等によって価格が変更される場合があります）。

3. 懇親会（参加費を値下げしました！）

多くの会員にお気軽に参加いただけるよう、懇親会参加費を値下げしました！
お申し込みをお待ちしております。

- ・日時：8月29日（土）18:00～20:00
- ・会場：14号館6階604
- ・会費：事前申し込み **一般3000円・学生2000円**。8月10日までに jaqua.event (at) gmail.com へ、メールの件名を「懇親会参加申し込み」としてお申し込みください。
当日申し込み 一般4000円・学生3000円

4. 2014年学術賞受賞者講演会

第四紀学会学術賞受賞の阿部彩子会員にご講演いただきます。
講演タイトル「第四紀の氷期間氷期サイクルの謎を追って」
一般公開講演のため、大会参加者以外や非会員でも参加できます。
8月29日（土）16:30～17:15、14号館102教室

5. 公開シンポジウム

7ページをご覧ください。

6. ポスター発表リスト

- P-1 八木令子・吉村光敏・小田島高之
--- 新旧の航空斜め写真から見た屏風ヶ浦海食崖の30年間の地形変化
- P-2 小松哲也・安江健一
--- 地形学図と後背地解析による鮮新-更新世の古地理復元の試み
- P-3 水野清秀
--- 鹿児島湾北縁に分布する大規模火砕流の層位と対比
- P-4 植木岳雪・河尻清和・小田啓邦
--- 関東平野西縁、中津層群 B2 コアの古地磁気層序
- P-5 福嶋 徹
--- 狭山湖底に確認された前期更新世・狭山層の蔵敷テフラと、小型オオバタグルミ (*Juglans megacineria* Miki ex Manchester) が産出した大型植物化石の産出層準
- P-6 中里裕臣・奈良正和・岡崎浩子・水野清秀
--- 関東平野東部、常総台地における御岳火山起源テフラに関する新知見
- P-7 大井信三・西連地信男・横山芳春・安藤寿男
--- 茨城県中部、行方台地の下総層群藪層から見いだされたガラス質テフラ —八ヶ岳 Lw.O.P. および Aso-1 の対比—
- P-8 山田真嵩・鈴木毅彦・井内美郎
--- テフロクロノロジーによる栃木県北部中部更新統塩原層群の堆積年代の検討
- P-9 石原武志・鈴木毅彦・内田洋平
--- 会津盆地の浅部地下地質調査
- P-10 鈴木毅彦・村田昌則・佐藤隼人・山田真嵩・小嶋智子・山崎晴雄
--- 2 Ma に秋田県仙岩地熱地域で発生した2回の大規模火砕流噴火とその広域テフラ：Tmg-R4 および Kd44-Nk テフラの認定
- P-11 田村糸子・森 勇一・宇佐美 徹・田中里志
--- 東海層群亀山層の新たな指標テフラ、火山灰層の記載岩石学的特徴と広域対比
- P-12 森 勇一・宇佐美 徹・田中里志・田村糸子
--- 珪藻化石から得られた東海層群の湖水域「安濃津湖」について
- P-13 井内美郎・山田和芳・里口保文・芳賀裕樹・林 竜馬・岡村 真・松岡裕美
--- 過去約5万年間の琵琶湖湖水位変動

- P-14 千葉 崇・藤野滋弘・小堀詠美
--- 珪化石群集から推定される徳島県田井ノ浜における完新世の地殻変動
- P-15 佐々木俊法・後藤憲央・岩森暁如・原田暁之・市川清士・松島義章・佐藤武宏・柳田 誠・杉森辰次・東田優記・重光泰宗・田中 裕
--- 詳細な生物遺骸群集の観察に基づく若狭湾周辺における地震性地殻変動
- P-16 佐藤善輝・水野清秀・細矢卓志・植木忠正・森田祥子・山崎晴雄
--- 足柄平野南部の堆積環境変化から推定される国府津-松田断層の活動履歴
- P-17 鎌滝孝信・丹羽正和・生田正文・黒澤英樹・檀原 徹・國分(齋藤)陽子
--- 宮崎平野南部にみられる1662年日向灘地震による津波堆積物
- P-18 卜部厚志・高清水康博・鈴木幸治・片岡香子・仁科健二・川上源太郎・平川一臣・酒井英男
--- 富山湾沿岸および新潟県直江津地域の沖積層に記録されたイベント堆積物
- P-19 北村晃寿
--- 過去4000年間に於いて静岡県沿岸ではレベル2の津波は襲来していない
- P-20 川合史夏・永澤大貴・鷹澤好博
--- 仙台平野の津波堆積物へのOSL年代測定とAMS¹⁴C年代測定の適用
- P-21 近藤玲介・横田彰宏・塚本すみ子・坂本竜彦
--- pIRIR年代測定法による北海道渡島半島周辺における中期更新世段丘面/堆積物の編年
- P-22 細野 衛・佐瀬 隆・谷野喜久子
--- 長野県長和町、広原湿原周辺域におけるローム土層中の広域風成塵の検出 - プロキシデータとしてのpH(NaF)値の活用 -
- P-23 新井達之・太田萌美・栗原正憲・香村一夫
--- 八ヶ岳東麓に分布する火山灰土壌の有する重金属吸着特性とそれに関与する粘土鉱物
- P-24 濱田崇臣・幡谷竜太
--- 風成ローム層に発達する斑紋構造の編年上の意義
- P-25 小椋純一
--- 微粒炭標本作成法の紹介
- P-26 楡井 尊・中村修美・青木淳一
--- 埼玉県北本市デーノタメ遺跡の花粉分析で得られたササラダニ化石
- P-27 宇津川 徹
--- 土師器と須恵器中の動物珪酸体について - 同定とその意義 -
- P-28 中村由克・麻生敏隆・金剛萱遺跡研究会
--- 群馬県下仁田町金剛萱遺跡で発見された局部磨製石斧
- P-29 米田 穰・中村慎一・金原正明・細谷 葵・宇田津徹朗
--- 新学術領域研究「稲作と中国文明-総合稲作文明学の新構築-」における第四紀学の応用と展開

7. ポスターの発表要領

- ・一般研究発表はポスター形式のみとなっています。会場は16号館1階106教室です。ポスターは8月29日11時から30日17時まで掲示できます。2日間でポスターの張り替えは行いません。
- ・ポスターボードのサイズは横90cm×縦180cmです。画鋏・テープ等は会場で用意します。ポスターには発表番号・発表題名・発表者名をタイトルとして明記して下さい。発表番号は「6. ポスター発表リスト」を参照して下さい。

8. INQUA 名古屋大会でポスター発表をされた方へ

INQUA大会で発表したポスターを早稲田大会の会場に展示することができます。ご希望の方は8月10日までに大会メールアドレス [jaqua.event\(at\)gmail.com](mailto:jaqua.event(at)gmail.com) まで(メールの件名を「INQUAポスター申し込み」として)お申し込みください(先着50名様まで。ご自分でポスターの貼付・片づけを行える方に限ります)。

9. 昼食

29、30日は両日とも生協(売店、食堂)は閉店しています。ご不便をおかけしますが、昼食は大学周辺のお店ご利用か、お弁当の持参をお願いします。受付で「早稲田ランチマップ」をお配りします。

10. 託児所の利用と申し込み

大会期間中に早稲田大学学生・教職員用託児室のご利用を希望する方は、8月6日(木)までに下記内容とともに、[jaqua.event\(at\)gmail.com](mailto:jaqua.event(at)gmail.com)へ、メールの件名を「託児所申し込み」としてお申し込みください。

①お名前、②所属、③連絡先、④お子様の年齢、⑤お子様の人数

⑥託児室利用を希望される時間帯

8月29日(土)

8月30日(日)

11. 早大生による「早稲田周辺キャンパスツアー」

8月30日の昼休み(13:00～14:00)に、早大生(早大地理学研究会有志)がキャンパス周辺をご案内します。大隈銅像、大隈講堂、博物館をはじめ、神田川沿いの胸突坂や芭蕉庵、化石の露頭などもあります。

参加ご希望の方は、30日13:00に会場受付前にお越しください(参加無料)。

日本第四紀学会 2015年大会公開シンポジウム 「第四紀学から防災教育へのメッセージ」

日 時：2015年8月30日(日) 09:30-12:30

会 場：早稲田大学 14号館 201教室 (入場無料、事前申し込み不要)

主 催：日本第四紀学会

後 援：早稲田大学教育・総合科学学術院

世話人：久保純子(早稲田大)、植木岳雪(千葉科学大)、卜部厚志(新潟大)

★シンポジウムの趣旨

自然環境と人類の歴史を研究する第四紀学は、過去の地震や火山などの自然現象やそれによる災害についてもさまざまな研究をすすめてきました。これらの研究成果を社会に還元するテーマとして、今回は「防災教育」をとりあげます。「防災教育」は学校で行われているものだけではありません。地域や行政などさまざまな場で、国や世代を超えてすすめられるものです。本シンポジウムでは第四紀学が防災や防災教育の分野で生かされた事例や、防災のリテラシー向上のための提言など、この分野で活動、発言している会員の招待講演と参加者による討論を予定しています。

★プログラム

09:30-09:35 趣旨説明(久保・植木・卜部)

09:35-10:00 宮城豊彦(東北学院大)「第四紀学を踏まえて作る地域防災・減災の処方箋はあるか」

10:00-10:25 藤岡達也(滋賀大)「持続可能な社会と地域防災、学校防災」

10:25-10:50 井村隆介(鹿児島大)「防災教育で何を教えるか?～学校と地域の連携：霧島市と志布志市での実践例をもとに～」

10:50-11:00 休憩

11:00-11:25 卜部厚志(新潟大)「中学生にむけた防災教育の取り組み：地域の地震と洪水リスクを考える試み」

11:25-11:50 植木岳雪(千葉科学大)「危機管理からみた防災教育：第四紀学の視点・・・防災に関する一般市民向けの講演の事例から」

11:50-12:30 コメントおよび総合討論

コメンテーター：宍倉正展(産総研)、此松昌彦(和歌山大)

◆ 2015 年日本第四紀学会学会賞・学術賞、論文賞・奨励賞受賞者決定

日本第四紀学会では、学会賞、学術賞、論文賞、奨励賞を設け、顕彰を行っております。2015 年の各賞の選考が行われ、受賞者が決定されました。

学会賞は第四紀学の発展に貢献した顕著な業績を有し、また日本第四紀学会の活動に著しい貢献があった正会員に授与される、学会における最高の賞です。また学術賞は第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与されます。会員から候補者の推薦・立候補を受け付け、1 月 31 日をもって締め切られました。その後、学会賞受賞者選考委員会（海津正倫委員長、池原 研、兵頭政幸、竹村恵二、高原光各委員）によって学会賞候補者 2 名、学術賞候補者 2 名が推薦され、5 月 24 日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

- 日本第四紀学会学会賞：小池裕子会員
受賞件名：「貝殻成長線、安定同位体、脂肪酸、mtDNA などを用いた先史生態学に関する一連の研究」
- 日本第四紀学会学会賞：松浦秀治会員
受賞件名：「インドネシア・ジャワと日本の人類遺跡に関する年代学的研究」
- 日本第四紀学会学術賞：藤原 治会員
受賞件名：「完新世の内湾堆積物中の津波堆積物に関する一連の研究」
- 日本第四紀学会学術賞：百原 新会員
受賞件名：「大型植物化石を用いた植物相変遷の研究」

論文賞及び奨励賞は、会誌「第四紀研究」に掲載された第四紀学の発展や進歩に貢献する優れた論文を公表した会員を含む著者に授与されるもので、とくに奨励賞は若手研究者（会員）の育成と研究奨励に寄与することを目的としています。会員から候補者（候補論文）の推薦・立候補を受け付け、1 月 31 日をもって締め切られました。その後、論文賞受賞者選考委員会（鈴木毅彦委員長、中川 毅、那須浩郎、植木岳雪、吉永秀一郎各委員）によって奨励賞候補者 1 名（論文賞候補論文は該当なし）が推薦され、5 月 24 日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

- 日本第四紀学会奨励賞：永安浩一会員
受賞対象論文：[論説] 永安浩一・公文富士夫・竹村恵二、琵琶湖堆積物コア BIW08-B における過去 28 万年間の珪藻化石群集変動。第四紀研究、第 53 巻、第 5 号、297-309p。

各受賞者の表彰式は、8 月 29 日の日本第四紀学会大会総会後に行われます。受賞理由等の詳細は、総会及び表彰式において報告されると共に次号の第四紀通信にてお伝えします。また学会賞・学術賞受賞者による記念講演会を計画中です。

◆ 第四紀学会講習会「放射性炭素年代測定」実施報告

東京大学総合研究博物館・米田 穰

過去の様々なイベントに関する正確な年代は、第四紀学の基礎となる情報であり各種理化学年代測定法は第四紀学会でも幅広く研究されている。なかでも放射性炭素 (^{14}C) 年代は、5 万年程度までの時間スケールにおいて、比較的簡便に測定が可能であり、また較正年代データの拡充によって、より真の値に近い値を得られるようになり、第四紀学をはじめとする自然科学分野のみならず、考古学や歴史学などの人文科学においても広く応用されている。近年では、前処理から加速器質量分

析 (AMS) による測定までを依頼分析で外注可能になった結果、方法の原理や注意点について必ずしも十分な知識がないまま年代データを取り扱うケースが少なくない。また近年になって、複雑な確率分布をもつ較正年代について、ベイズ推定を用いた統計学的な解析方法が急速に研究開発されており、単なる年代決定から一步踏み込んだデータ解釈が報告されているが、それらについても適切な教科書などはまだ出版されておらず、学習機会が求められている。それらの要望に応えるため、

日本第四紀学会では昨年より、東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室と共同で、ユーザー向けの講習会を開催している。今年度は、去る5月20日（水）から22日（金）の3日間にわたり東京大学本郷キャンパスの総合研究博物館で開催された講義と実習に加え、23日（土）には筑波大学研究基盤総合センター応用加速器部門の協力のもと、大型加速器の見学と ^{14}C 以外の核種におけるAMS測定についての講義を実施した。大学では、東京大学や筑波大学の大学院生をはじめとして、京都大学や総合研究大学院大学、福岡大学、東北大学、茨城大学、国際仏教学大学院大学からご参加いただき、また産業技術総合研究所や国立歴史民俗博物館、日本原子力研究開発機構、パリオ・サーヴェイ株式会社などの各種研究機関・企業も含めた計22名の参加者を得た。

講義内容は昨年のアンケート結果も参考に、要望の多かった「放射性炭素年代のベイズ推定」に関する講義と、年代較正プログラムOxCALを用いた実習を第3日目の1日にかけて取り組んだ。第1日目と第2日目には、昨年度も実施した ^{14}C 年代測定の原理と問題点に関する基礎的な講義と、骨試料や木炭試料についての前処理実験の実習、グラフィット作成の実習に加えて、東京大学に今年2月に導入されたコンパクトAMSを用いたAMS測定の装置調整などのデモンストレーションを新たな実習として行った。AMS測定の実習では、講習参加者より事前に送付された実資料の測定も行い、将来の研究について具体的なイメージをもてるように工夫した。第4日目は筑波大学での開催だったが多くの参加者を得て、 ^{14}C 以外のAMS測定についても関心の高さがうかがわれた。筑波大学では東日本大震災によって12MVの

大型加速器が壊滅的なダメージをうけたが、6MVタンデム加速器と二酸化炭素ガスの導入が可能な最新のイオン源を含むAMSシステムが昨年度新たに導入され、5本のビームライを誇る最新の設備をご案内頂いた。講義では、筑波大学で多くの研究が進められている ^{36}Cl をはじめとする多核種のAMS研究の事例を学習するとともに、新たに導入された自動グラフィット作成装置を用いた実習を行い、次の10年にむけた新たなAMS研究の展開を期待させる内容であった。

参加者からは、ベイズ推定や前処理などの実際的な部分についての理解が深まったなどの意見が多く、講習会の目的は達成できたと考えている。一方、 ^{14}C 以外の核種を用いた応用研究にたいする質疑も多くごされ、第四紀学におけるAMS研究への関心の高さが示された。 ^{14}C 年代についても、さらに応用に踏み込んだ講習を期待する意見もよせられ、初級コースと発展コースを用意してはどうかなどの建設的な意見もよせられた。現在、東京大学総合研究博物館では、本実習でも使用した ^{14}C 専用コンパクトAMSに加え、5MVのタンデム加速器を中心とする加速器研究施設MALTにおいて ^{10}Be と ^{129}I のAMS測定を共同研究と様々な分野で活用している。さらに筑波大学の ^{36}Cl を加えて、応用研究に用いられている全核種のAMS測定を共同研究に資する体制を構築しており、第四紀学の分野からも積極的な参画を募りたい。今後も本講習会を通じて、最新のAMS研究についての情報提供を行う計画である。

筑波大学の笹 公和先生、松中哲也研究員、東京大学の尾寄大真研究員、大森貴之研究員に講義と実習を通じて、日本第四紀学会の活動に多大なご協力を頂いた。記して謝意を表する。

◆日本第四紀学会 2014 年度第 3 回評議員会議事録

日時：2015年5月24日（日）13:00～14:00

場所：幕張メッセ国際会議場 会議室 101B

出席：小野 昭（会長）、吾妻 崇、植木岳雪、卜部厚志、岡崎浩子、奥村晃史（副会長）、北村晃寿、久保純子、小荒井 衛、斎藤文紀（副会長）、澤井祐紀、白井正明、須貝俊彦、鈴木毅彦、藤原 治、水野清秀、宮内崇裕、安田 進、横山祐典、小森次郎（幹事）、齋藤めぐみ（幹事）、熊井久雄（元会長）、遠藤邦彦（元会長）

欠席：阿部彩子、池田明彦、出穂雅実、海津正倫、河村善也、工藤雄一郎、小池裕子、佐藤宏之、里口保文、高原 光、竹村恵二、辻 誠一郎、中村俊夫、長橋良隆、八戸昭一、松浦秀治、松下まり子、三田村宗樹、本川雅治、山崎晴雄、

吉永秀一郎、渡邊眞紀子

小森次郎幹事の司会で、小野会長のあいさつの後、横山祐典評議員を議長に選出した。定足数確認（出席者19名、委任状20通）後、配布資料に基づき、下記の審議が行われた。

<議題>

- 2015年日本第四紀学会学会賞の受賞者の決定
海津正倫学会賞選考委員会委員長の代理の池原研委員から、学会賞候補者として小池裕子会員と松浦秀治会員の推薦があり、これを承認した。
- 2015年日本第四紀学会学術賞の受賞者の決定
海津正倫学会賞選考委員会委員長の代理の池原

研委員から、学術賞候補者として藤原 治会員と百原 新会員の推薦があり、これを承認した。

3. 2015 年日本第四紀学会論文賞・奨励賞受賞者の決定

鈴木毅彦論文賞選考委員会委員長から、奨励賞受賞者の永安浩一会員の推薦があり、これを承認した。

4. 通信評議員会に関する会則変更（以下）を承認

し、次回総会に諮ることとした。

第 13 条に第 5 項として以下を追加、「会長が必要と認める場合には、電磁的方法をもって評議員会を開催し、2 分の 1 以上の返信をもって成立させることができ、審議に加わった評議員の過半数が同意の意思表示をしたときは、議決することができる。」

(2015 年 8 月 30 日、総会で一部改正)

◆日本第四紀学会 2014 年度第 7 回幹事会議事録

日時：7 月 4 日（土）10:00～15:00

場所：明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 7 階 C4 会議室

出席：小野会長、吾妻（12:40～）、岡崎、北村、小森（14:40 まで）、斎藤文紀、藤原、水野

欠席：出穂、卜部、奥村、齋藤めぐみ、佐藤、宮内、米田

陪席：事務局 伊津野

<報告事項>

幹事長（水野）

1. 会員 ML に国際第四紀学連合（INQUA）第 19 回大会の開会式における天皇皇后両陛下のご臨席について送信した（20150626）。

庶務（北村）

- 2014 年度第 6 回議事録を送付した。
- 2014 年度日本第四紀学会選挙管理委員会第 2 回会合を 2015 年 5 月 17 日に開催し、評議員選挙の開票を行い、次の評議員 39 名が確定した。共通分野：奥村晃史、斎藤文紀、須貝俊彦、鈴木毅彦、竹村恵二。地質学：池原 研、卜部厚志、公文富士夫、里口保文、中川 毅、長橋良隆、藤原治。地理学：吾妻 崇、植木岳雪、海津正倫、奥野 充、宮内崇裕、山崎晴雄。考古学：出穂雅実、工藤雄一郎、佐藤宏之、中村由克。古生物学：河村善也、北村晃寿、齋藤めぐみ。地球物理学：阿部彩子、小荒井 衛。工学：八戸昭一、安田 進。土壌学：三浦英樹、吉永秀一郎。動物学：池田明彦、初宿成彦。地球化学：川幡穂高、横山祐典。人類学：松浦秀治、米田 穰。植物学：高原 光、百原 新。
- 第四紀広報パンフレットを印刷した(20150525)。
- 2014 年度第 3 回評議員会議事録を送付した(20150529)。
- 2014 年度日本第四紀学会選挙管理委員会第 3 回会合を 2015 年 6 月 28 日に開催し、役員選挙の開票を行い、次の通りとなった。会長：小野 昭。副会長：奥村晃史、斎藤文紀。会計監査：河村善也、北村晃寿。幹事：吾妻 崇、植木岳雪、卜部厚志、齋藤めぐみ、須貝俊彦、百原 新、米田 穰。
- 会員 ML に 2015 年大会の講演申し込みの締め切りを 7 月 6 日 17 時までで延長することを送信した（20150701）。

7. 1 名の逝去会員の報告があった（20150704）。

庶務（佐藤）

- 世界思想社教学社から、成瀬敏郎・小野間正巳（1984）播磨灘西部、黄島、前島、大多府島の海岸地形と旧海水準、第四紀研究、22 巻 4 号の図 2 を転載した首都大学東京の入試問題（地理）の転載許可願（転載先：2016-2018 年版大学入試シリーズ 首都大学東京）があり（20150507）、これを許可した（20150515）。
- （公社）土木学会原子力土木委員会断層変異評価小委員会から、狩野謙一他（1984）丹沢南部・大磯丘陵周辺における中期更新世以降の断層活動、第四紀研究、23 巻 2 号の図 3、4 の転載許可願（転載先：断層変異評価小委員会報告書「原子力発電所の断層変異ハザードについて」）があり（20150512）、これを許可した（20150527）。
- 法政大学入試センターから、菅 香世子（1998）八丈島火山群の形成過程とその特徴、第四紀研究、37 巻 2 号の図 3 を 2015 年度文学部地理学科自己推薦特別入試の試験問題に転載した件について事後報告があり、同大学 HP にて過去問題として周知したいという転載許可願（周知期間：2015 年 7 月～2018 年 7 月）があり（20150526）、これを許可した（20150616）。
- 2015 年学会賞・学術賞受賞候補者選考委員会にて受賞候補者を選考し、5 月 24 日開催の第 3 回評議員会にて報告、承認された。

学会賞受賞候補者：小池裕子会員、松浦秀治会員
学術賞受賞候補者：藤原 治会員、百原 新会員

2015 年論文賞・奨励賞受賞候補者選考委員会にて受賞候補者を選考し、5 月 24 日開催の第 3 回評議員会にて報告、承認された。

奨励賞受賞候補者：永安浩一会員

会計（岡崎）

- 広報勤務時間について、第四紀通信（22-3）は計 20 時間、HP は 5・6 月（20 時間）であった。
- Adobe Creative Cloud の契約更新（年額 59,760 円）と第四紀研究編集の PC 買い替え（141,198 円）を支出した。
- 自然史学会連合加盟学協会 2015 年度の分担金（20,000 円）を振り込んだ。

行事・企画（小森）

1. 早稲田大会の準備状況の説明があり、大会参加者に INQUA 第 19 回大会で発表したポスターの再掲示のスペースを 20 件分用意し、先着順で受け付けることとした。
2. 自然史学連合主催の講演会が 2015 年 11 月 22 日（日）に三重県立博物館で開催され、ブース型体験教室を小森行事担当と近藤玲助会員が行う予定である。

渉外（吾妻・宮内）

特になし

広報（齋藤めぐみ）

1. 第四紀通信 22 巻 3 号を発行した。
2. だいよんき Q&A No.24 への回答を作成し学会ホームページ上に公開した。

編集（卜部・藤原）

1. 定例の第 4 回編集委員会を 2015 年 5 月 30 日（土）に開催した。
2. 第四紀研究は、54-3 号は刊行済み、54-4 号は論説 3 編の構成（現在初校）、定期刊行の予定、54-5 号は柏大会特集号のうち 4～5 編で構成予定。
3. 編集状況
 - ・柏大会特集号は、10 編投稿済、4 編受理(20150702 時点)、6 編査読あるいは著者修正中。
 - ・通常号は、査読あるいは著者修正中：論説 4、総

説 2、短報 4、資料 1、書評 1。

4. 2015 年 9 月の委員会から、8 名の編集委員が任期満了により交代するため、研究分野のバランスを考慮して、新委員への就任を打診中。

INQUA 関係（吾妻）

1. 準備状況の報告があった。

その他

1. 公益社団法人日本地球惑星科学連合第 12 回学協会長会議が 2015 年 5 月 27 日に幕張メッセ国際会議場で開催され、23 期日本学術会議から、各学協会に対して、不適切なオーサーシップと 2 重投稿に関する規定を設けたうえで公表することが求められたとの報告があった。

<審議事項>**会員入退会**

1. 7 名の入会申請を承認した。

広報パンフレットの訂正

1. 広報パンフレットに誤りがあり、これを訂正の上、改訂版を 2000 部印刷することとした。

組織改革委員会の提案

1. 5 月 27 日・6 月 14 日に開催された組織改革委員会の原案について検討した。

.....

◆会員メーリングリストにご登録ください！！

近年では、電子メールが簡便で確実な情報伝達手段として定着してきております。当学会においても、大会開催情報や各種申込みなど、緊急かつ重要な情報を会員メーリングリストを通じて配信しております。かねてより会員の皆様にお問い合わせいただいておりますが、会員メーリングリストへの積極的な登録をお願い致します。また、すでに登録されている方におきましても、メーリングリストでの情報を受信しているかどうか、今一度ご確認ください。また、異動等がありましたら、メーリングリストへの登録情報を更新していただけますようお願い申し上げます。

メーリングリストへの登録、登録情報の更新は、氏名、所属、メールアドレスを明記の上、電子メールにて日本第四紀学会事務局へご連絡ください。

日本第四紀学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル10階
株式会社春恒社 学会事業部内
E-mail: daiyonki(at)shunkosha.com
電話：03-5291-6231
FAX：03-5291-2176

そのほか、各種イベントに関する情報、公募情報なども引き続き配信してまいります。会員に向けて情報を送りたい場合には、広報幹事（齋藤めぐみ：memekato(at)kahaku.go.jp）までご相談ください。原則として文字情報のみとなり、添付ファイルは送信しません。追加情報がある場合には、それが掲載されている URL 等を示していただけますようお願い致します。

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。
広報幹事：齋藤めぐみ（memekato(at)kahaku.go.jp）宛にメールでお送り下さい。
第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月1日刊行予定としていますが、情報の速報性ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。
奇数月15日頃にはホームページにアップするようにしていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 国立科学博物館 地学研究部 齋藤めぐみ
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 FAX：029-853-8998

広報委員：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子 編集書記：岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーのPDF ファイルを閲覧できます。

日本第四紀学会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル10階
株式会社春恒社 学会事業部内
E-mail：daiyonki(at)shunkosha.com 電話：03-5291-6231 FAX：03-5291-2176